

休日に部活動で登校しました。朝からどしゃぶりの雨が降っていて、練習が終了したあと部室で昼食をとってくつろいでいた 14:00 ごろ、学校の敷地はグラウンドも校舎の周りも完全に冠水していることに気づきました。このまま自分たちだけで学校に残るのは危険だと判断し、まだ動いている越生線で帰宅することにしました。どのルートを通して西大家駅まで行くべきでしょうか。あなたは学校の正門を左に出ますか、それとも右に出ますか？



- 模擬授業の流れ
 - ・ 地形の判別と避難経路の図上演習（演習）
 - ・ 避難経路の確認（巡検）
- 演習の流れ・・・「ジグソー法」を取り入れた演習
 - ・ 地形の判別 — 高麗川右岸の低地（氾濫原）と台地（洪積台地）の区分 —
 - ・ 避難経路の図上演習 — 地形の判別を利用して —

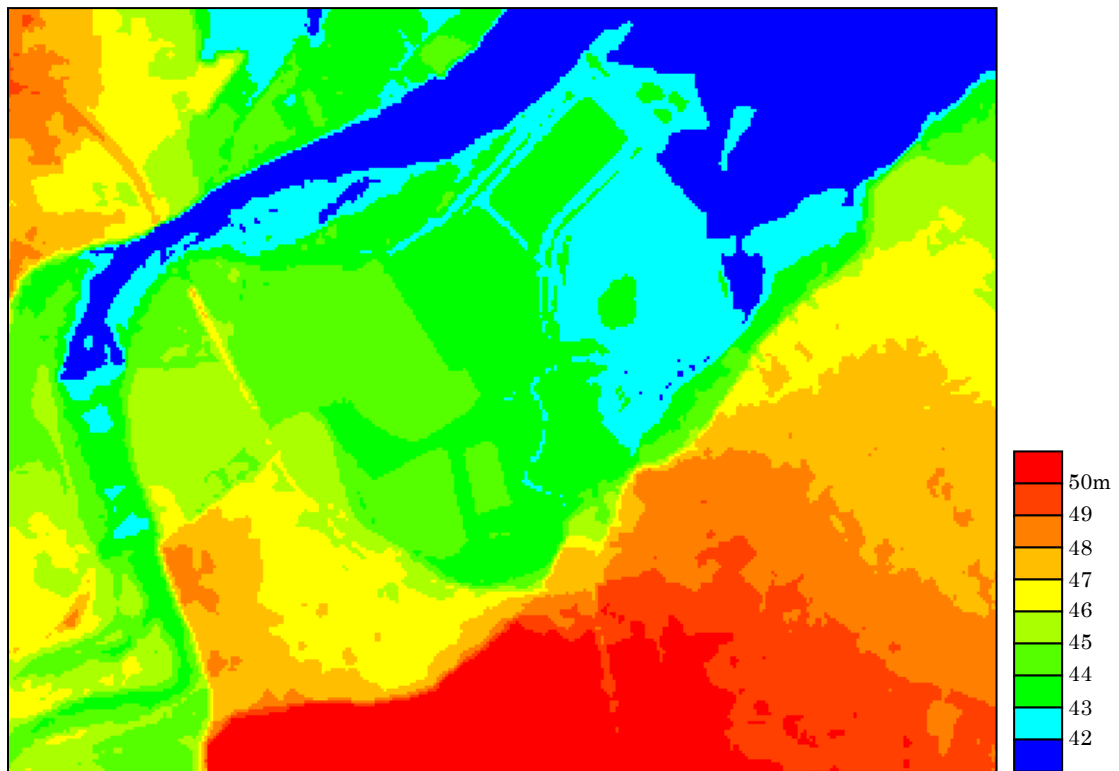
1 グループ A_{1~n}, B_{1~n}, C_{1~n} にそれぞれ異なる地図（A：色別標高図，B：陰影起伏図，C：寺院分布図）を配布して、低地と台地の境界線がどこを通るのか検討する。

2 最初のグループを解体して、添え字（_{1~n}）が同一の A・B・C のメンバーからなる新しいグループをつくる。異なる地図を使って引いた境界線をそれぞれが発表しあい、境界線の再検討を行う。

3 その上で、正門から西大家駅までの避難経路を検討する。

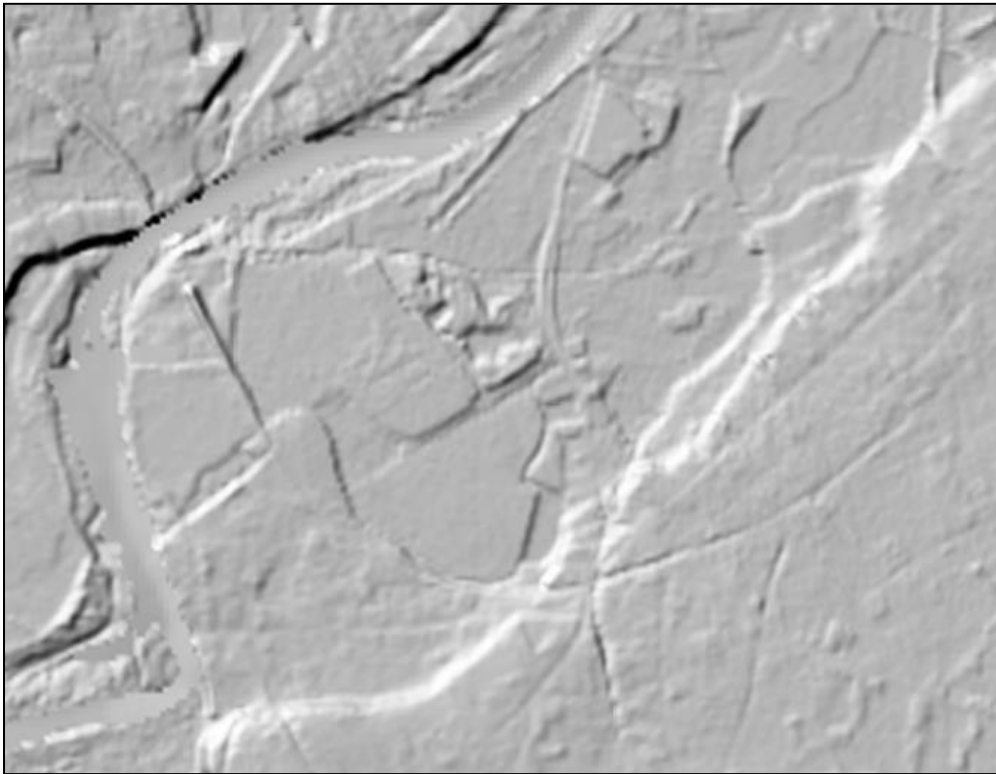
- 巡検の流れ
 - ・ 約 1.2km のコースを 1 時間かけて歩く。・・・「坂戸西高校正門」出発－「西大家駅」解散
 - ・ 避難経路の確認に加え、日本史的な要素を持つ見学地を含む。・・・河岸場、古い農具、板碑

Aグループ用配布資料・・・色別標高図から地形の区分を考える



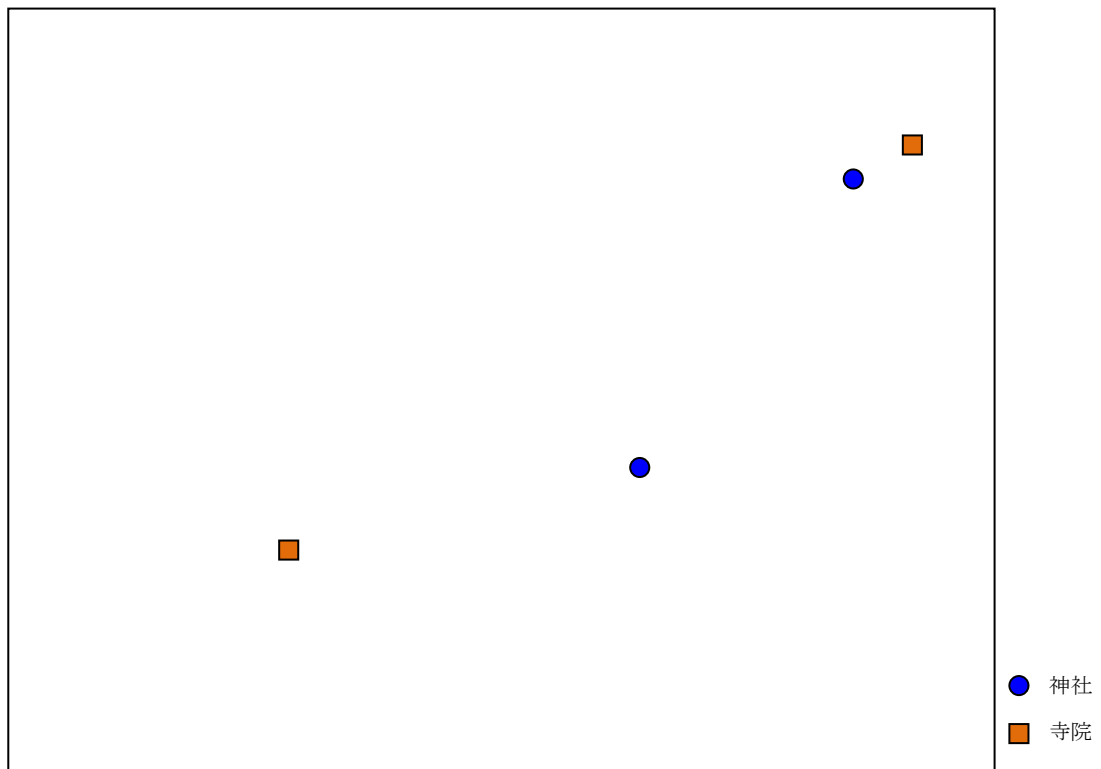
Bグループ用配布資料・・・陰影起伏図から地形の区分を考える

* 陰影起伏図とは、北西から光を当てたとき、地面の凹凸が北西方向は明るく、南東方向は暗くなるように示した図で、隣接するメッシュの標高から傾斜角と傾斜の方向を求めることによって作成する。

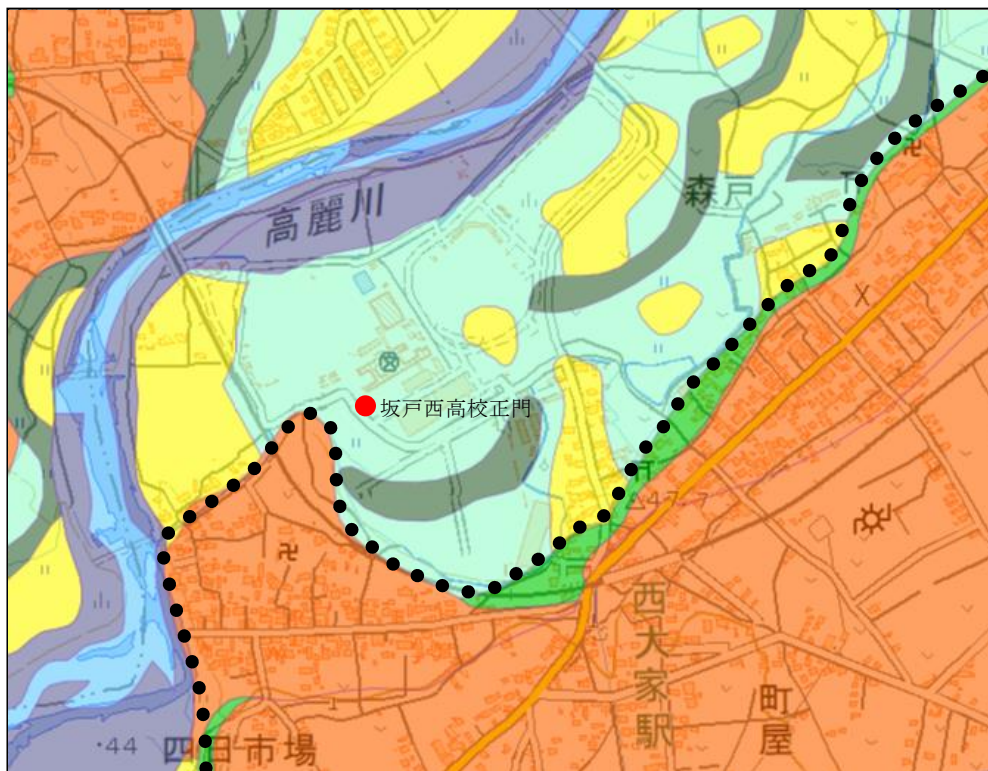


Cグループ用配布資料・・・寺院分布図から地形の区分を考える

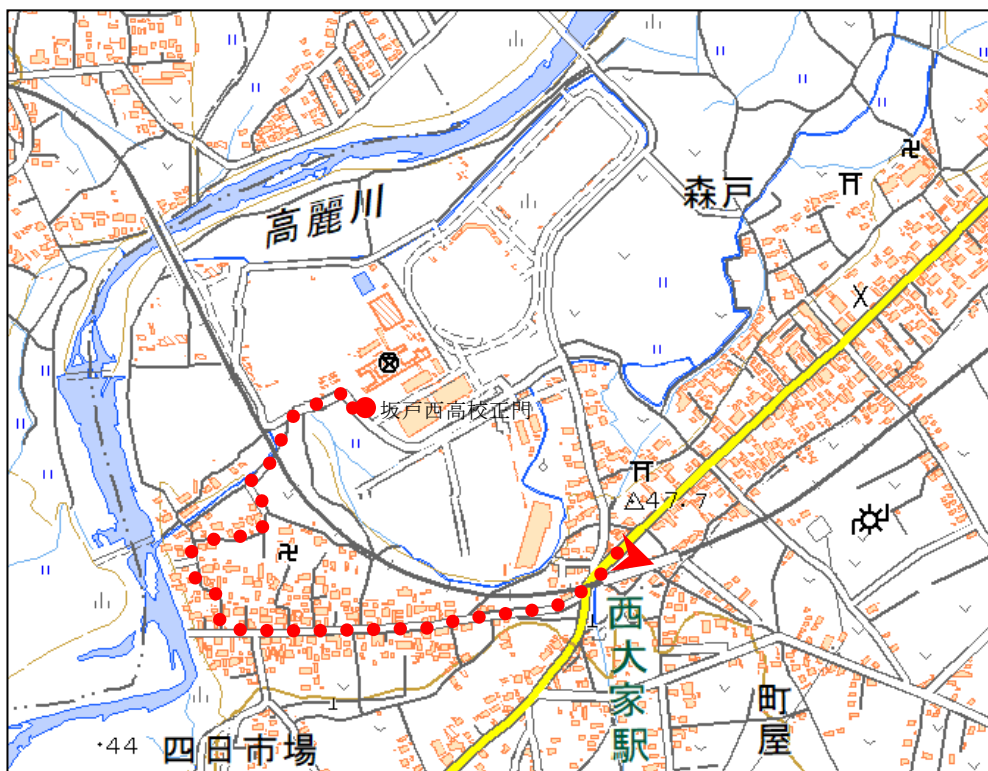
*この範囲にある寺社は、いずれも見晴らしの良い高台に立地している。



答え



＊ 地形判別の境界線（黒の点線）は土地条件図より作成。



参考



地理院地図



今昔マップ